

凡 例 等

1 年表記載内容

釧路市及び周辺市町村の出来事を中心に収集し、加えて、その年代の社会情勢等が分かるように、道内及び国内外の出来事を収録した。

2 年表の記載形式

(1) 月日が不明な事項については、「この年」の欄に「○」で表記し、月が明確なものは当該月欄に「＊」で表記した。

(2) 年号は和暦と西暦を併用した。

(3) 記号

『 』は、書籍、新聞等刊行物に使用した。

《 》は、絵画や音楽等の芸術作品名に使用した。

「 」は、漢字ひらがな交じりの団体名など、読み方が紛らわしい場合に使用した。

(4) 省略

(株)＝株式会社、(有)＝有限会社、(社)＝社団法人、(学)＝学校法人、(福)＝社会福祉法人、(一財)＝一般財団法人、(公財)＝公益財団法人、(一社)＝一般社団法人、(公社)＝公益社団法人、(特非)＝特定非営利活動法人、(独)＝独立行政法人

他に、法令名等に慣例による略称を使用した事項も多数ある。

3 その他

(1) 人名や地名、団体名等、漢字表記やカタカナ表記など正式な表記を心掛けたが、不明なものについては、出典の表記に従い、統一できないものがある。

(2) 人名については、敬称を省略した。

(3) 会社や団体等の創立周年行事については、30年、50年、80年、100年を基本に掲載した。

(4) 個人や団体等の受賞については大きなもののみ掲載した。

(5) 「主な国内外及び北海道の事項」については、「釧路新聞」「北海道新聞」「読売新聞」「朝日新聞」「毎日新聞」日本放送協会の「キーワードで見る年表 平成30年の歩み」を参考にした。

(6) 出典は、原則として原典あるいは基本資料によったが、必ずしも果たせなかったものもある。

(7) 3市町合併により誕生した釧路市と合併以前の釧路市が混在しているが、出来事の内容により「釧路地区」「旧釧路市」「釧路市」等の使い分けをした。

(8) 釧路市と釧路管内が明確に区分できない事項については、その内容により釧路市とそれ以外の欄に振り分けた。基準があいまいな部分はあるが、年表のねらいである、事実を伝えることを優先した。

(9) 付録の年表（平成元年～平成17年）については、釧路市統合年表の原文を転記し、写真については削除した。

月	釧路市関係事項	主な国内外及び北海道の事項
1	4 第92回日本学生氷上競技選手権大会(氷上インカレ)のスピードスケート、フィギュアスケート両競技の開会式がコーチャンフォー釧路文化ホールで行われる。 10 北海道難病連釧路支部の機関誌「なんれんくしろ」が100号に達する。 18 釧路市緑ヶ岡共和町内会が創立50年を迎え、記念式典を行う。 19 釧路市立景雲中学校が、第40回全国中学校アイスホッケー大会で、14年ぶり3回目の日本一に輝く。 25 「SL冬の湿原号」が20年目の運行を開始する。 * 市民団体「マモレルウゴケル 防災力向上ネットワーク」が発足する。	15 北海道エアポートによる道内7空港の一括民営化がスタートする。 16 日本で最初の新型コロナウイルス感染者が確認される。 18 最後の大学入試センター試験が行われる。(～19) 18 道内7空港の民営化に伴い、委託事業者の北海道エアポートによる空港ビル経営開始を記念する式典が行われる。 21 冬季ユース五輪でアイスホッケー女子日本代表が初優勝する。 31 英国がEUを離脱する。 * 新型コロナウイルスによる肺炎が中国武漢を中心に広がる。
2	1 釧路・根室管内のタクシー運賃が値上げされる。 2 釧路市倫理法人会の設立記念式典が行われる。 3 釧路地方気象台が、目視で天気などを判断する観測から、気象レーダーなどの機器を使った自動観測に移行する。 10 釧路市動物園で5年ぶりにチンパンジーの赤ちゃんが誕生する。 15 アイス文化に親しむ初のイベント「阿寒ユーカラウタサ祭り」が阿寒湖で開催される。 22 釧路市を中心に活動する総合型地域スポーツクラブ「とらいあんぐる946」の設立総会が行われる。 27 新型コロナウイルス感染拡大を受け釧路根室管内の全小中学校が2月27日～3月4日まで臨時休校になる。 27 雄別炭鉱が1970年2月27日に閉山してから50年を迎える。	11 プロ野球戦後初の三冠王で、ヤクルトや楽天などで監督を務めた野村克也が死去する。 24 JR北海道のSL「冬の湿原号」の累計乗客数が30万人を超える。 28 国が全国の小中高校に休校を要請する。期間は、3月2日から3学期いっぱい。 28 北海道知事が独自の緊急事態宣言を開始する。(～3月19日) 29 別海町出身の新濱立也選手がスピードスケート世界選手権で初の総合優勝を果たす。
3	2 釧路市が住民票や所得証明書などの有料証明書のキャッシュレス決済を始める。 2 釧路市高等看護学院の改修工事が完了し、校舎の供用を始める。 5 急速に発達した低気圧の影響で、釧路根室管内が記録的な暴風雪に見舞われ(～6日)、JAF釧路に800件の出動要請が寄せられる。 5 新型コロナウイルス対策のため、釧路市が4月1日の人事異動を5月1日に先送りすると発表する。 7 新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、釧路市の大学や短期大学で卒業式の中止が相次ぐ。 10 釧路根室地方が大雨に見舞われ、気温上昇による雪解けも加わり各地で河川の増水、住宅の浸水被害が発生する。 18 経済産業省の「ダイバーシティ経営企業100選」に釧路製作所が釧路根管内で初めて選ばれる。 19 国の文化審議会が築70年の民家「旧五十嵐家」を登録有形文化財に登録するよう、文部科学省に答申する。 27 釧路市漁業協同組合が主要魚種の水揚げ減による減収を受け、人員削減に着手する。27日付で職員16人が早期退職する。 31 釧路市内で使える共通ポイントカード「くしろスキップカード」を展開する釧路ポイントカード事業協同組合が事業を停止する。 31 JTB北海道事業部釧路オフィスが閉鎖される。	11 日本高校野球連盟がセンバツ高校野球大会の中止を発表する。プロスポーツ界でも中止や延期が相次ぐ。 14 JR山手線と京浜東北線の新駅「高輪ゲートウェイ駅」が開業する。 15 マスクの転売を禁止する政令改正案を閣議決定し、この日から施行する。 21 「ねむの木」学園を設立した宮城まり子が死去する。 22 根室管内初の高規格幹線道路「根室道路」が開通する。 24 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、東京オリンピック・パラリンピックの1年程度の延期が決まる。 25 国内で第5世代移動通信システムがサービスを開始する。

月	釧路市関係事項	主な国内外及び北海道の事項
4	* 環境省の「レッドリスト」が改訂され、釧路市の天然記念物キタサンショウウオの評価が「準絶滅危惧種」から「絶滅危惧IB類」に見直される。 1 釧路市体育協会が釧路市スポーツ協会に名称変更する。 3 港文館がリニューアルオープンする。 19 釧路市の「知人海晴老人クラブ」が2020年度での解散を決める。 20 緊急事態宣言を受けて釧路管内の小、中、高校が再び臨時休校になる。 30 地元飲食店の料理を自宅までタクシーが配達する「ごちそうタクシー便」が始まる。 * 新型コロナウイルス感染拡大の影響で「第35回釧路湿原車いすマラソン大会」「第36回くしろ霧フェスティバル」「第73回くしろ港まつり」の中止が決まる。 * 釧路工業高等専門学校が、釧路管内の学校で初めて、学生や保護者の困りごとなどの相談に応じる「インテーカー」を2020年度から導入する。	29 タレントの志村けんが新型コロナウイルスによる肺炎で死去する。 31 渋谷駅に隣接する東急百貨店東横店が閉店する。 7 安倍首相が、東京都など7都府県を対象に改正特別措置法に基づく緊急事態宣言を初めて発令する。 8 楽天モバイルがサービスを開始する。 17 JR北海道札沼線の北海道医療大学駅－新十津川駅間がこの日で運行を終了する。 23 俳優の岡江久美子が新型コロナウイルス感染症に伴う肺炎のため死去する、 26 全国高等学校体育連盟が、新型コロナウイルス感染防止のため、今夏開催予定の全国高校総合体育大会の中止を決める。 28 日本中学校体育連盟が、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、全国中学校体育大会の中止を発表する。 * 新型コロナウイルスの感染拡大を受け、YOSAKOIソーラン祭りの中止が決まる。
5	4 釧路市在住の画家・阿部ススムが死去する。 7 鳥取橋の長寿命化工事が始まる。 15 実行委員会が第48回釧路湿原マラソン大会の中止を発表する。 18 4月20日から臨時休校していた小中学校の分散登校が始まる。 20 釧路空港1階の喫茶店「ら・ぽーと」が閉店する。 22 釧路市教育委員会が定例教育委員会で、釧路アイスアリーナと柳町アイスホッケー場の命名権決定を報告。釧路アイスアリーナが「ひがし北海道クレインズアイスアリーナ」、柳町アイスホッケー場は「KKS釧路厚生社アイスホッケー場」となる。 26 釧路市が1人10万円の特別定額給付金の振り込みを開始する。 29 釧路空港の路線誘致などに取り組む2組織が統合し、新組織「くしろ広域観光誘致推進協議会」が発足する。 * 新型コロナ流行に伴う外出自粛などにより、大型連休期間中、釧路広域連合清掃工場や粗大ごみ処理センターへの家庭ごみの搬入が増える。 * 日本舞踊の若柳吉澄奈師範が、舞踊歴50周年を迎える。 * ガソリン価格が4か月連続で下落する。 * 釧路川河口付近で明治から戦後にかけて運航していた渡し船の乗船券が見つかり、釧路市立博物館に寄贈される。	12 高知県で開催予定だった第44回全国高等学校総合文化祭をオンライン形式に変更すると発表する。 17 ススキノラフィアが閉店する。 20 第102回全国高校野球選手権大会(夏の甲子園)の中止が決まる。 23 プロレスラーの木村花がネットいじめを苦に自殺する。 25 政府が、北海道と4都県で継続していた緊急事態宣言を解除する。
6	1 新型コロナウイルス感染拡大防止のため分散登校を実施していた市立小中学校が再開する。 3 釧路市子ども遊学館が、最新機器が導入されたプラネタリウムの一般上映を開始する。 4 釧路鳥取きりん獅子舞が釧路管内で初となる北海道の無形民俗文化財に指定され、指定証書が伝達される。	1 新型コロナウイルス感染予防対策として道が実施していた休業要請が解除される。 5 拉致被害者家族会初代代表の横田滋が死去する

月	釧路市関係事項	主な国内外及び北海道の事項
4	釧路塗装工業協同組合と釧路市が「災害時における応急活動に関する協定」を結ぶ。	19 文化庁の「日本遺産」に、根室管内1市3町の「鮭の聖地の物語～根室海峡1万年の道程～」が根室・釧路管内で初めて認定される。
14	囲碁の第52期釧路根地区本因坊戦で釧路市立光陽小学校5年生の伊東信義が木下本因坊を下し、最年少でタイトルを獲得する。	22 世界のスーパーコンピューターの性能を調べる専門家のプロジェクト「TOP500」が最新の計算速度ランキングを発表し、理化学研究所計算科学研究センターの「富岳」が1位となる。
16	不登校の小学生や中学生を受け入れるフリースクール「なんらぼ」が開校する。	
22	釧路市エール商品券の販売予約が始まる。	
23	釧路交通が、釧路空港と釧路駅周辺とをタクシーで定額輸送するサービスを開始する。	
29	釧路西ロータリークラブが50周年を迎え、日本画家・羽生輝の「海霧」を釧路市立美術館に寄贈する。	
30	釧路空港2階の土産店「かわしま」が閉店する。	* 「あおり運転」などを妨害運転罪とする改正道路交通法が施行される。
30	各種宴会や会合などで広く利用されてきたアクア・ベールが閉館する。	
*	釧路市が、妊娠期から子育て期まで切れ目なく母子をサポートする「子育て世代包括支援センター事業」をこの月からスタートさせる。	
*	コロナウイルス感染拡大による大韓航空の釧路—仁川チャーター便の2020年度運航が見送られる。	
*	音別ふき露団生産のフキが、九州・中国地方を中心に展開する「グリーンコープ生活協同組合」の宅配販売品として採用される。	
*	パリで活躍した洋画家・増田誠の習作約40点が釧路で見つかる。	
7	1 日本製紙釧路工場が大正9年7月富士製紙釧路工場として操業を始めて以来、創業100年を迎え、神事と記念植樹を行う。	1 改正容器包装リサイクル法の施行により、プラスチック製レジ袋が有料化される。
6	釧路市内で最も古い草津湯が閉店し、101年の歴史に幕をおろす。	
9	2018年に閉店した「釧路まちなかコンシェルジュくるる」が「カフェくるる」に改称して営業を再開する。	12 新型コロナウイルス感染拡大により開業を延期していた、白老町のアイヌ文化復興拠点「民族共生象徴空間」(ウポボイ)が開業する。
15	釧路市が経済対策の一環としてプレミアム付き商品券「釧路市エール商品券」を発売する。	21 国際的なファッションデザイナー山本寛斎が死去する。
27	釧路市と大塚製薬札幌支店が、防災やスポーツ振興などに関する包括連携協定を締結する。	22 新型コロナの影響を大きく受けた観光業救済のため、GoToトラベルキャンペーンが開始される。
27	長年にわたる釧路港内の清掃活動を行い環境美化に貢献したとして濱谷建設に国土交通大臣賞が贈られる。	
*	旅行大手のHIS・イオン釧路営業所が閉鎖される。	* 釧路根室管内でクマの目撃情報が相次ぐ。
8	1 阿寒湖畔の新イベント、カムイルミナの代替事業として2020年度限りの「カムイコオリパク」が始まる。	
1	ピーチアビエーション(株)の釧路—成田線が就航する。	
3	亜細亜大学硬式野球部の釧路市内での合宿が中止となる。	10 俳優の渡哲也が死去する。
8	北大通の喫茶店「豊文堂書店 喫茶部ラルゴ」が閉店する。	10 中止となった夏の全国高校野球大会の代替として、甲子園高校野球交流試合が開催される。
16	釧路市中央図書館の富澤泰館長が死去する。	
17	「旧五十嵐家住宅事務所兼主屋」が国の有形文化財に登録される。	
25	山口哲夫元釧路市長が死去する。	31 遊園地のとしまえんが閉園する。
*	釧路工業技術センターや釧路市内の企業などが国際協力機構の補助を受け、ベトナムで取り組んできた4か年事業が終了する。	

月	釧路市関係事項	主な国内外及び北海道の事項
9	10 釧路くじら協議会が「くじら祭り&くしろの鯨 味めぐり」を行う。 17 水害軽減を目的とした「釧路川水系流域治水協議会」が設置される。 24 地域観光を担う人材を育成する「ひがし北海道観光寺子屋」の初の講義が阿寒湖温泉で行われる。 28 釧路市千歳生活学校が39年の歴史に幕をおろし、市内ホテルで閉校式を行う。 30 1967年から中島町で営業していた銭湯「登喜和湯」が閉店する。 * 新型コロナウイルス感染拡大の影響で釧美展が中止となる。 * アイスホッケーアジアリーグが新型コロナウイルスの影響で開催中止となる。 * 春採市民の森にエゾシカを捕獲する囲いわなが設置される。 * 市立釧路総合病院の其田一副院長が2020年度救急功労者表彰を受賞する。 * 釧路で誕生した桜の品種「釧路八重」が、日本造園学会北海道支部の選ぶ「北の造園遺産」に認定される。 * 釧路市教育委員会が定例会で「GIGAスクール構想」の計画案を報告する。 * (特非)くしろわつつが発行する「わつつだより」が100号に到達する。	13 女子テニスの大阪なおみ選手がテニスの全米オープン女子シングルスで2度目の優勝を果たす。 14 自民党総裁選で菅義偉が選出される。 15 野党の合流新党「立憲民主党」が正式に発足する。 16 菅義偉内閣が発足する。 * 「ドコモ口座」を悪用した銀行預金の不正引き出しが多発する。
10	1 釧路市音別町の地域おこし協力隊として、本間忍が着任する。 3 この年2月以降中止されていた釧路での有料スポーツイベントがひがし北海道クレインズアイスアリーナで行われる。 3 車の窓越しに花火を楽しむイベント「音別花火大会」が開催される。 7 釧路市音別町直別の農業 榊原源士が、廃止された旧JR直別駅前に自作の休憩所「旅の駅・さすらいの牛舎」を設置する。 10 「くしろオータムフェスティバル2020～わくわくハロウィン」が初開催される。 16 釧路市立鳥取西小学校が2020年度のアルミ缶回収優秀校としてアルミ缶リサイクル協会から表彰される。 18 釧路市長選が行われ、現職の蝦名大也が4選を果たす。 26 児童館と地区会館の機能を併せ持つ「釧路市共栄ふれあいセンター」がオープンする。(オープニングセレモニーは31日) 30 釧路元町青年団が、太平洋石炭販売輸送臨港線の弁天ヶ浜にあった踏切の警報器を再現する。 31 北海道鉄道140年記念列車「はまなす」が特急「おおぞら」として釧路一札幌間を運行する。(2日間) * 音訳の録音図書を制作するボランティア団体「釧路音訳会ともしび」が、朗読奉仕者を表彰する2020年度の北海道グループ奨励賞を釧根管内で初めて受賞する。 * 釧路新聞社が、「社会を明るくする運動」の啓発に貢献したとして法務大臣感謝状を贈呈される。	1 東京証券取引所がシステム障害のため、株式全銘柄の売買を終日停止する。 1 たばこ税が増税される。 1 酒税法が改正される。 18 東京都調布市の住宅街で道路が陥没する。 21 航空機を使った初めての北方領土上空慰霊が行われる。 23 JR日高線の鶴川一様似間の廃止が正式に決定する。 30 アパレル大手のレナウンが破産し、118年の歴史に幕を閉じる。
11	5 日本製紙が、翌年8月に釧路工場における製紙事業から撤退することを発表する。 5 釧路市と釧路自動車販売店協会加盟の15社が、「災害時における次世代自動車からの電力供給等協力に関する協定」を結ぶ。 6 釧路市の板金職人杉元雅則が、現代の名工に選ばれる。(釧路から32年ぶり、4人目)	1 大阪都構想の住民投票が行われ、僅差で否決される。 5 香川県の養鶏場で、2018年1月以来となる高病原性鳥インフルエンザの発生が確認される。 7 米大統領選でジョー・バイデンが勝利を確実にする。

月	釧路市関係事項	主な国内外及び北海道の事項
7	7 バスケットボール男子Bリーグ1部のレバンガ北海道が釧路市で千葉ジェッツと公式戦2試合を行う。(～8日)	8 秋篠宮さまが皇位継承順位1位となることを示す「立皇嗣の礼」が行われる。
	8 釧路工業高等専門学校が図書館朗読会が100回目を迎え、記念の朗読会が行われる。	12 ノーベル物理学賞受賞者の小柴昌俊が死去する。
	9 釧路市西消防署の新庁舎が完成し落成記念式典を行う。	
	10 釧路市立城山小学校が100周年を迎える。(大正9年釧路尋常高等小学校の茂尻矢分教場として開校)	16 野口聡一が乗船した米民間企業の宇宙船クルードラゴン運用の初号機が打ち上げられる。
	13 釧路市出身の直木賞作家桜木紫乃原作の映画「ホテルローヤル」が全国公開される。	17 格安航空会社エアアジア・ジャパンが破産する。
	16 林業会社「北都」が釧路管内初となる2020年度の循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰を受賞し、伝達式が行われる。	
	26 DCMホームマック鳥取大通店がオープンする。	
	28 釧路観光コンベンション協会と三ッ輪商会在、国内アウトドアのトップメーカー「スノーピーク」の協力、監修により、「北斗遺跡」の敷地内で豪華キャンプを実施する。	* 旭川や札幌で医療施設や福祉施設における大規模なクラスターが広がり、医療がひっ迫する。
	28 旧「七人の小人」跡地に「トラットリア・バンビーノ」が開店する。	
	29 阿寒バスが、自宅にいながらバス旅行を楽しめるオンラインツアーを始める。	
	* 釧路市消防本部が、動画投稿サイト「ユーチューブ」に公式チャンネル「みんなの釧路市消防本部チャンネル」を開設する。	* 道内で1日あたりの新型コロナウイルス感染者が200名を超える。
	* 「釧路製作所」と「葵エステイ島本鉄工」が、経済産業省が選ぶ令和2年度の「地域未来牽引企業」に選ばれる。	* 高レベル放射性廃棄物(核のゴミ)の最終処分場に向けた文献調査を寿都町と神恵内村で実施することが認可され、調査が開始される。
12	* 釧路市立湖畔小学校4年生門間大明の作品が、アジア太平洋地域宇宙機関会議主催のポスターコンテストに参加する、日本代表の3作品に選ばれる。	
	* 太平洋興発が創立100周年を迎える。(前身は1920年に設立された太平洋炭硯)	
	* 釧路管内町内会連絡協議会(黒木満会長)が、創立30周年記念誌「絆」を発行する。	
	* 釧路出身のジャズピアニストで作曲家の木原健太郎が、音楽活動の拠点を釧路に移す。	6 小惑星探査機「はやぶさ2」が地球に帰還する。
	7 東京で開催の「日本クラシック音楽コンクール全国大会トランペット部門」で、釧路市立鳥取西小学校5年生の児玉隼人が成人を含む他の出場者を抑え、最高賞のグランプリを獲得する。	7 コメディアンで俳優の小松政夫が死去する。
	10 2月に閉店した武佐の「春の湯」あとに「晴の湯」がオープンする。	
	12 釧路管内の企業でつくる実行委員会が主催する釧路初のイベント「くしろ希望フェス」が鳥取南の特設会場で開かれる。	10 サンマの水揚げが記録的不漁の昨年からさらに半減する。
	13 若草町の軽食喫茶「コザック」が創業50周年を迎える。	14 この年の漢字に「密」が選ばれる。
	13 ひがし北海道クレインズが第88回全日本選手権大会を制し、創設2年目で日本一の座に就く。	23 作詞家、直木賞作家のなかにし礼が死去する。
	21 4日に営業運転を開始した釧路火力発電所の竣工式が行われる。	24 「マーキュロクロム水溶液」(赤チン)の製造が終了する。
	28 釧路市内小中学校の2学期終業式が行われる。新型コロナウイルスの影響で冬休みが8日間に短縮される。	28 国の「GoToトラベル」が全国一斉に停止する。
	30 釧路市で1961年の統計開始以来、最も遅い積雪が観測される。	31 英国がEUを離脱する。
	* 詩誌「かばりあ」の節目となる200号が発行される。	31 第71回NHK紅白歌合戦が初めての無観客開催となる。
	* 阿寒湖温泉在住のアイヌ刺繍作家・西田香代子が文化庁長官表彰を受賞する。	31 アイドルグループ「嵐」が無期限で活動を停止する。
	* 住民基本台帳による12月末現在の人口が帯広市に抜かれ6位に転落する。	* 夕張リポートが破産を表明する。

月	釧路市関係事項	主な国内外及び北海道の事項
この年	この年	この年
	○ 2019年度の釧路管内のエゾシカによる農林業被害額が11億6千万円にのぼる。 ○ 2019年度の釧路市でのスポーツ合宿受け入れが91件で2305人に上り、統計を取り始めた01年度以降で過去最多となる。 ○ 釧路空港の2019年度の乗降客数が前年度比1.2%増の83万1737人となる。 ○ 2019年度の釧路地区倒産企業数が14件となる。 ○ 2020年釧路管内建設業売り上げ高ランキング上位100社の売上高合計が、前年比11.4%増で05年の調査開始以来最高額となる。 ○ 2020年における釧路港と韓国釜山港を結ぶ外国貿易コンテナ船の輸送実績が前年比5%増の3万2204本と過去最高を更新する。 ○ 「マーメイドくしろ」が今季で活動を終了し、45年の歴史を閉じる。 ○ 釧路太平洋太鼓が創立50周年を迎える。 新語流行語大賞 「3密」	○ 鬼滅の刃が大ブームとなる。 ○ 将棋の藤井聡太が、史上最年少でのタイトル奪取や八段昇進など、さまざまな記録を塗り替える。

月	釧路市関係事項	主な国内外及び北海道の事項
1	6 橋北地区民生委員児童委員の和田優が2020年度「社会福祉功労者厚生労働大臣表彰」を受賞し、伝達式が行われる。 8 釧路の飲食店や生活情報を網羅した、インターネットの総合情報サイト「くしろCOTO」が開設される。 8 小学生女子バスケットボールチーム「鳥取西シャイニングスターズ」が第46回北海道U12バスケットボール大会で釧路勢としては男女を通して初めて優勝する。(～10日) 11 釧路地域の情報を発信するインターネットテレビ局「くしろログ」が釧路市内に開局する。 18 くしろ冬まつり会が、「くしろ冬まつり2021」の中止を決定する。 21 第32回全国高校デザイン・イラスト展で釧路明輝高校3年生の森本愛梨の作品が経済産業大臣賞に輝き、同校で伝達式が行われる。 23 日本太鼓財団と同北海道道東支部主催の「第1回ひがし北海道太鼓まつり」が開催され、道東各地から10団体が出演する。 25 アイスホッケーの第70回全国高校選手権大会で武修館高校アイスホッケー部が5年ぶりに優勝する。 30 「第1回地方を元気にするワーケーションフォーラムin釧路」が、オンラインで開かれる。 31 釧路管内唯一の献血施設「ぷらっと946献血ルーム」が閉鎖される。 31 和商市場の矢部商店が閉店する。 ＊ 年末年始の冷え込みで水道管の凍結が相次ぐ。 ＊ 道教育大学附属釧路小学校の岡林春花が国立科学博物館主催の「第37回植物画コンクール」小学生の部で最高賞の国立科学博物館長賞を受賞する。 ＊ 釧路市の理容師・佐藤貴之が、理美容師の全国大会「スタイリングコレクション2020」の「フォトサロンスタイルフレッシュ ウィッグメンズ部門」で優勝する。 ＊ 釧路江南高校蝦夷太鼓部が全国高等学校総合文化祭に20年連続で出場することが決まる。 ＊ 内閣府の2020年度「心の輪を広げる体験作文」で江南高校3年生の八巻花音が、優秀賞の内閣府特命担当大臣賞を受賞する。	1 日本製粉が社名を「(株)ニッポン」に変更する。 8 新型コロナウイルス感染症対策として首都圏1都3県に緊急事態宣言を発令する。(2月7日まで) 16 大学入試センター試験に代わり大学入学共通テストが初実施される。稚内会場では暴風雪の影響で1日目が中止となる。 16 石原プロモーションが解散する。 18 日本中学校体育連盟が全国中学校体育大会のスキー、スケート、アイスホッケー全競技の中止を決定する。 19 東北自動車道下り線で約50台の車が絡む事故が発生する。 22 核兵器禁止条約が発効する。 22 大リーグで通算755本塁打を記録したハンク・アーロンが死去する。
2	6 冬のイベント「ウインターパーク」と「釧路風土まつり」が釧路川耐震リバーサイド地区で開かれる。 9 信金中央金庫が企業版ふるさと納税として釧路市に1000万円を寄付する。 10 JR北海道の島田社長が、老朽化した「SL冬の湿原号」を4億円かけてリニューアルすると発表する。 12 釧路市内の外国人研修生7人が新型コロナウイルスに感染し、「外国人のための職業研修施設」でクラスターが発生する。 13 将棋の藤井聡太2冠(当時)の師匠として知られる杉本8段によるオンライン講演会が行われる。 15 釧路市が、聴覚障がい者向けの「遠隔手話サービス」を開始する。 20 人気格闘漫画「刃牙」の作者・板垣恵介が阿寒湖温泉観光大使に任命される。 26 釧路演劇会をリードした永田秀郎作の戯曲8作品を収録した「永田秀郎戯曲集－釧路から－」が釧路演劇協議会から発行され、記念シンポジウムが開かれる。 ＊ 釧路保健所が骨髄バンクのドナー登録窓口を開設する。	1 ミャンマーでクーデターが起こり、国軍が全権を掌握する。 12 日本国内でファイザー製のワクチン接種が始まる。 13 宮城、福島で震度6強の地震が発生する。 18 橋本聖子参院議員が、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員長に就任する。 25 格安航空会社エアアジア・ジャパンが破産手続き開始決定を受ける。 28 みずほ銀行で大規模なシステム障害が起こる。

月	釧路市関係事項	主な国内外及び北海道の事項
3	10 釧路美術協会が100周年を迎え、記念の春季展を開催する。(1921年[大正10年]に「青空画会」として発足) 13 JR根室線の音別駅が無人駅となる。 17 市民団体「ハポート」がフリーペーパー「釧路の子育て応援マガジンハポート」を創刊する。 21 阿寒湖アイスシアター「イコロ」の主要演目「アイヌ古式舞踊」がリニューアルされる。 22 釧路管内のガソリン価格が150円を超え、1年2か月ぶりの高値水準となる。 26 政府の地震調査会による全国地震動予測地図の2020年度版で、震度6弱以上の地震が起こる確率が釧路地区で71%と発表される。 * 釧路市が、阿寒湖温泉地区に「地域優良賃貸住宅」を初めて整備する。 * 美警が、経済産業省と日本健康会議が共同実施する「健康経営優良法人2021」の認定を受け、優れた健康経営の取り組みを展開する中小企業上位500法人をたたえる「ブライツ500」に釧路管内で唯一選ばれる。	1 ヤフーを傘下に持つZホールディングスとLINEが経営統合する。 10 1947年創刊の「根室新聞」が休刊する。 12 日本郵政と楽天が業務提携を結ぶ。 20 東京オリンピック・パラリンピックにおける海外からの一般客受け入れを断念することが、正式に決まる。 23 愛媛県の正栄汽船が保有するタンカーが座礁し、スエズ運河が封鎖される。 27 昆布森漁港の屋根付き岸壁が完成し、供用を開始する。 27 弟子屈町や環境省などの7者が摩周エリアの観光資源磨き上げについての連携協定を結ぶ。 30 環境省が厚岸道立自然公園を「厚岸霧多布昆布森国定公園」に格上げする。(厚岸、標茶、浜中、釧路の4町にわたる4万1487ヘクタール) 31 志摩マリンランドが営業を休止する。 * 通信アプリ「LINE」利用者の個人情報が中国から閲覧できるようになっていたことが発覚する。
4	1 JR釧路駅が開業120年を迎え、記念入場券を発売する。同根室駅が開業100年を迎え、記念入場券を発売する。 1 障がい者支援施設「さわらび学園」が釧路市愛国に新築移転し「ライフサポートさわらび」と改称する。 1 北海道教育大学附属釧路小・中が施設分離型の義務教育学校となる。 6 釧路市立学校初の小中一貫校、釧路市立阿寒湖義務教育学校の開校式が行われる。 23 釧路市建設事業協会が50周年を迎え、通常総会を開催する。(設立 昭和46年2月12日) 28 釧路市教育委員会が「学力向上推進委員会」を立ち上げる。 28 鳥取西交番が星が浦大通に移転・新築し、運用を開始する。 30 鮮魚店がなかった阿寒町に「さかな屋 昆布森」がオープンする。 * 建設業の本田組が創立100周年を迎える。 * 「緑いっぱい市民運動」世話人会が創立50周年を迎える。 * 北大通の老舗文具店「佐藤紙店」がつくる佐藤紙店新聞が発行10年を迎える。 * 愛国の理容店「大阪理容藤田」が閉店する。	1 消費税の総額表示が再び義務化される。 1 三井製糖と大日本明治製糖が経営統合し、「DM三井製糖ホールディングス」が誕生する。 1 富士ゼロックスが社名を「富士フィルムビジネスイノベーション」に変更する。 4 浜中町にルパン3世の展示施設がオープンする。 5 ジャパネット銀行が「PayPay銀行」に社名変更する。 11 ゴルフの松山英樹が、四大メジャー大会と称されるマスターズ・トーナメントでアジア人初の優勝を飾る。 30 ジャーナリストの立花隆が死去する。
5	7 「釧路市子育て応援円卓会議」が設置される。 10 釧路市富士見で旧日本軍の弾薬約500発が発見される。 18 平成27(2015)年に釧路市文化賞を受賞した彫刻家・中江紀洋が死去する。	19 俳優の星野源と新垣結衣が結婚を公表する。

月	釧路市関係事項	主な国内外及び北海道の事項
6	22 釧路音楽協会が発足50周年を迎え、総会を開く。	* 世界的な酒類品評会サンフランシスコ・ワールド・スピリッツ・コンベンション2021で「厚岸ウイスキーサロレンカムイ」と「厚岸シングルモルトウイスキー寒露」が最優秀金賞を受賞する。
	22 くしろチューリップ&花フェアが中止される。	
	26 7月31日から8月1日の日程で開催予定だった第74回くしろ港まつりの中止が決定する。	
	29 老舗理容業の國分理容所が73年の歴史に幕を閉じる。	
7	1 釧路少年鑑別支所が、「法務少年支援センターくしろ」を開設する。	20 災害時「避難勧告」を「避難指示」に一本化する改正災害対策基本法が施行される。
	20 (特非)阿寒観光協会、まちづくり推進機構の新理事長に松岡尚幸が就任する。	21 改正少年法が成立する。
	20 音別「蒔まつり」が中止となる。	30 作曲家の小林亜星が死去する。
	20 釧路市が、新型コロナウイルスワクチンの大規模接種会場を釧路市国際観光交流センターに開設する。	4 笹生優花がゴルフの全米女子オープン選手権で優勝する。(最年少優勝記録タイ)
	28 釧路市危険物安全協会の濱屋勝美会長が消防庁長官表彰を受ける。	18 エレキの神様と呼ばれた寺内タケシが死去する。
	* 「釧路市平和観音護持会」が創立50周年を迎える。	23 上野動物園のジャイアントパンダ「シンシン」が赤ちゃん2頭を出産する。
	* 阿寒湖で大量のマリモが、強風により8年ぶりに打ち上げられる。(6月の発生は極めてまれ)	
	1 音別町に簡易宿泊施設「釧路音別富貴の里レジデンス」がオープンする。	
	1 大澤木材の大澤友厚相談役が2020年度緑化功労者表彰の林野庁長官賞を受賞する。	3 静岡県熱海市で大規模な土石流が発生する。
	5 「JALふるさとアンバサダー」の東北北海道担当に小林千秋が着任する。	19 北海道が防災会議地震専門委員会で太平洋沿岸地域の新たな津波浸水被害想定を示す。
	6 高級食パン専門店「銀座に志かわ釧路店」が芦野にオープンする。	23 コロナ下の東京五輪が開幕する。
	10 釧路地域職業訓練センターで建築板金の技能検定実技試験が行われる。釧路で同検定が行われるのは12年ぶり。	28 「北海道・北東北の縄文遺跡群」がユネスコの世界文化遺産に登録される。
	10 南大通の理容タイガーが創業50周年を迎える。	
	13 釧路市の木村工務店が道内大手鈴木商会の完全子会社になる。	
	15 釧路市ビジネスサポートセンターk-Bizの相談件数が開設から3年で5000件を達成する。	30 文部科学省が、2025年以降の大学入試共通テストにおける英語民間検定試験と記述式問題の導入を断念すると明らかにする。
	18 元町おてら食堂が1年半ぶりに食を介した活動を再開する。	31 「フジ三太郎」などの作品で知られる漫画家サトウサンペイが死去する。
	20 日本郵便北海道支社が釧路ー白糠間の鉄道開通120周年を記念して切手シートを発売する。	
	21 2017年から通行止めとなっていた「釧路湿原大橋」の通行が再開される。	* 標茶町や厚岸町で放牧中の牛がクマに襲われる事案が多発する。(目撃された場所と前足の大きさから「OSO(オソ)18」と名付けられる)
	26 仮称アイヌクラフトセンター検討委員会の初会合が開かれる。	
	31 釧路市動物園のレッサーパンダ・シンゲンとアスナロの間に2匹の赤ちゃんが生まれる。	* ふるさと納税の寄付総額で、根室市が全国3位となる。
	31 釧路北陽高校吹奏楽局が、第45回全国高校総合文化祭のマーチング部門で「実行委員会特別賞」を受賞する。同部門での受賞は釧路の高校としては初。	* 世界的に木材の価格が上昇する。(ウッドショック)

月	釧路市関係事項	主な国内外及び北海道の事項
8	4 2021東日本ジュニア体操競技選手権大会が湿原の風アリーナ釧路で開幕する。道内、東北、関東から小中学生選手384人が参加する。 5 JR花咲線(釧路ー根室間)が全線開通100年を迎える。(1921年8月5日開通) 5 神戸物産のフランチャイズ「業務スーパー」が昭和にオープンする。運営は三ッ輪商会が行う。 15 新型コロナで開催を延期していた「2021くしろ20歳のつどい」が釧路市内5会場で行われる。 16 日本製紙釧路工場が紙生産を終了する。 19 第74回北海道バドミントン選手権大会が2004年以来17年ぶりに釧路で開催される。(～22日)	6 道内で14日連続で猛暑日が記録される。 14 歌手で俳優のジェリー藤尾が死去する。 17 落語家の笑福亭仁鶴が死去する。 17 新型コロナウイルスの影響で北方領土のピザなし交流が全面中止となる。 19 アクション俳優・千葉真一が死去する。 30 米軍がアフガニスタンから撤退する。
9	1 釧路埼灯台が130周年を迎える。 15 釧路美術協会が創立100周年を迎え、記念の釧美展を開催する。 30 日本製紙釧路工場が全ての業務を終え、閉場する。 ＊ 道東地方の太平洋沿岸で赤潮の被害が拡大する。	1 集英社の月刊ファッション誌「セブンティーン」が定期刊行を終える。 1 デジタル庁が発足する。 24 「ゴルゴ13」の作者「さいとう・たかを」が死去する。 26 石屋製菓(株)の石水勲名誉会長が死去する。 30 作曲家のすぎやまこういちが死去する。
10	1 釧路市が「釧路市Webハザードマップ」の運用を開始する。 1 新会社、日本製紙釧路事業所と日本製紙釧路エネルギーが発足する。 2 春採湖ネイチャーセンターが開設30周年を迎え、記念事業が行われる。 5 細川たかし「望郷じょんから」の作詞などを手掛けた釧路市出身の里村龍一が死去する。 8 阿寒湖のマリモが国の天然記念物に登録されて100年を迎え、記念のシンポジウムが開催される。 10 村井建設(株)が創業100周年を迎える。(1921年10月10日阿寒町雄別で創業) 16 釧路北ローターアクトクラブが50周年を迎え、記念式典を行う。 25 釧路市在住の笈牧子が日本最大の声楽専門コンクール「第1回国際声楽コンクール東京」本選に出場して入選を果たす。 30 釧路太平洋太鼓が50周年記念公演を開催する。(～31日) 30 前年に開校100周年を迎えた釧路市立城山小学校が、新型コロナにより1年遅れの記念式典を行う。 ＊ 釧路市立共栄小学校5年生金澤新栞が、全国公募の「第49回我ら海の子展」で最高賞に次ぐ特別賞の日本船主協会会長賞を受賞する。 ＊ 1956年11月創刊の雑誌「かばりあ そして」の最終号が発行される。	1 大相撲の横綱白鵬が現役引退し、会見を行う。 1 蛇の目ミシン工業が創業100周年を機に社名を「(株)ジャノメ」に変更する。 2 郵便法の改正に伴い、土曜日の普通郵便とゆうメールの配達中止される。 3 大リーグの大谷翔平が本塁打46本、100打点、投手として9勝し、4年目のシーズンを終える。 4 自由民主党の岸田文雄が第100代首相に選出される。 5 真鍋淑郎(プリンストン大学上席研究員)がノーベル物理学賞を受賞する。 5 小樽市の花火製造・販売「北海煙火」の工場で大規模な火災が発生する。 7 落語家で人間国宝の柳家小三治が死去する。 8 漫画家 白土三平が死去する。 14 「根室国後間海底電信線陸揚庫」の登録有形文化財への登録が告示される。 26 秋篠宮家の長女眞子さまが結婚し、皇室を離脱する。 31 衆院選北海道7区で伊東良孝が大差で5選を果たす。 ＊ 4月に経営統合する帯広畜産大学、小樽商科大学、北見工業大学の初代理事長に慶應義塾の前学長 長谷山彰が選ばれる。

月	釧路市関係事項	主な国内外及び北海道の事項
11	10 女性健康サークル「きんれん花健康グループ」が創立50周年記念祝賀会を開催する。 11 釧路市在住の日本画家羽生輝に2021年度の北海道文学賞が贈られることが決定する。 24 アイスホッケーひがし北海道クレインズが、元幹部社員による着服と2020-21シーズンの大幅な赤字を発表する。 ＊ 釧路市立博物館友の会が50周年を迎える。 ＊ 阿部新聞店が1990年から発行してきた季刊ミニコミ紙「きりっと」が150号で休刊となる。	9 作家で僧侶の瀬戸内寂聴が死去する。 10 衆院選の結果を踏まえ、岸田文雄が101代首相に選出される。 18 米大リーグの大谷翔平選手が、満票でア・リーグの最優秀選手(MVP)に選ばれる。 28 歌舞伎俳優で人間国宝の中村吉右衛門が死去する。
12	2 釧路地方職業能力開発機協会の田中安雄会長が認定職業訓練関係の功労者として厚生労働大臣表彰を受賞する。 7 釧路市教育委員会が、阿寒湖に生息する国の天然記念物マリモが大量に打ち上げられたと発表する。 19 ひがし北海道クレインズが、全日本選手権で2連覇を達成する。 ＊ 三ッ輪運輸が、翌年3月に旅行代理店業から撤退することが判明する。 ＊ 柳町スピードスケートリンク場が、1971年12月オープン以来50年を迎える。	10 米南部や中西部でなど6州で数十個の竜巻が相次いで発生し、多数の死傷者が出る。 13 この年の漢字が「金」に決まる。 17 大阪市北区のビルで放火による火災が起こり、25人が焼死する。
この年		この年
○ 2020年度の市内観光客数が前年度比53.6%減の246万人となる。(釧路市発表) ○ 2021年釧路地区企業倒産数が過去最少の12件となる。 ○ 2021年釧路市公設地方卸売市場の成果取扱高が 数量3万3858トン金額98億円8,794万円となり、2年ぶりに100億円を下回る。 ○ 2021年釧路市消防本部管内の火災件数が過去最少の48件、死者数が初めて0人となる。 ○ 釧路工業高等学校同窓釧路建築の会が30周年を迎える。 ○ 釧路川治水事業100周年を迎える。 新語流行語大賞 「リアル二刀流／ショータイム」		○ 新型コロナウイルスの変異株が世界的に猛威を振るう。 ○ 東京オリンピックで日本が史上最多58個のメダルを獲得する。

月	釧路市関係事項	主な国内外及び北海道の事項
1	5 946BANANAがバナナの生産を終了したことを明らかにする。 6 民生委員・児童委員を長年務めた村山喜代が社会福祉功労者として厚生労働大臣表彰を受賞する。 14 釧路商科専門学校が釧路地裁より破産開始決定を受ける。 15 ひがし北海道クレインズアリーナで行われたひがし北海道クレインズ対東北フリーブレイズの試合で新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生する。 18 釧路市立大楽毛中学校2年の佐々木優奈が、第22回未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクールで道内最高賞となる「海上保安協会道地方本部長賞」を受賞する。 18 釧路市中央図書館が、蔵書や雑誌の自宅への有料郵送サービスを開始する。 21 北海道が国に「まん延防止等重点措置」適用を申請したことを受け、釧路市が市内全小中学校の部活動を原則禁止する方針を固める。 21 釧路市で開催予定だった第42回全国中学校アイスホッケー大会が、新型コロナウイルス感染拡大のため開催直前で中止となる。 21 2月5～6日に開催予定だったくしろ冬まつりを2年連続で中止することを決定する。 * 感染力の強い新型コロナウイルス「オミクロン株」により、釧路根地区をはじめ全道一円で急速に感染が拡大する。 * 釧路武佐の森の会が道社会貢献賞を受賞する。	9 元首相の海部俊樹が死去する。 10 漫画家・水島新司が死去する。 11 体操の内村航平選手が引退を発表する。 24 「種の保存法施行令の一部を改正する政令」が施行され、釧路市の天然記念物キタサンショウウオの捕獲も規制対象となる。 27 北海道など18道府県に「まん延防止等重点措置」が適用される。
2	1 臨時市議会で、赤潮被害のあった市内2漁業協同組合に対して626万円を補助することを含めた補正予算案を可決する。 18 「小中学校のあり方検討委員会」が、義務教育学校の設置による小中一貫教育を進めるべきとの中間報告書を釧路市教育委員会に提出する。 21 釧路プリンスホテルで3回目の新型コロナワクチンの集団接種を開始する。 22 釧路市がイオンモール釧路昭和とコープさっぽろ貝塚店にマイナンバーカードセンターを開設する。 25 北京五輪で活躍した釧路市ゆかりの7選手に釧路市長特別表彰を贈呈することを発表する。 25 あいちよう美原店が閉店する。 25 道議会5会派が、次期道議選の釧路市選挙区定数1減について合意する。 * 釧路市音別地域交流拠点施設の愛称が「ルート38音別館 おんぼーと」に決定する。	1 元東京都知事で作家の石原慎太郎が死去する。 4 北京五輪が開幕する。 8 北京五輪で女子アイスホッケー・スマイルジャパンが初の決勝進出を果たす。(6位入賞) 18 まん延防止等重点措置の期間が3月6日まで延長される。 24 ロシアがウクライナに軍事侵攻する。
3	1 大野金幸が、釧路市地域おこし協力隊のアドベンチャートラベル推進員として着任する。 8 釧路市議会が、ロシアによるウクライナへの軍事侵略を非難する決議を全会一致で可決する。 9 海藻が吸収する二酸化炭素「ブルーカーボン」の量を増やす実証実験が釧路港で始まる。 18 阿寒湖温泉が脱炭素、脱プラスチックの取組について、環境省の「ゼロカーボンパーク」として道内で初めて登録される。 22 (福)釧路愛育協会の養護老人ホーム「長生園」と特別養護老人ホーム「武佐の里」が完成し、落成記念式典を行う。 23 大正時代新潟県出身の漁師が建立した旭町の日枝神社が閉鎖、神社終いが行われる。	4 まん延防止等重点措置の期間が3月21日まで再延長される。 11 JR根室線の糸魚沢駅が最終営業日を迎え、廃止される。 17 福島県沖でマグニチュード7.3の地震が発生し、宮城県と福島県で震度6強を観測する。

月	釧路市関係事項	主な国内外及び北海道の事項
31	日本たばこ産業(株)道東釧路支店が廃止となる。	31 前年に廃刊した「根室新聞」の後継となる「ネムロニュース」が発刊される。
31	スーパーヒロセ鳥取店が閉店する。	
4	* アイスホッケーひがし北海道クレインズの経営不振により、選手・スタッフへの給与遅配が続いていることが明らかとなる。 1 阿寒幼稚園が認定こども園阿寒幼稚園として開園する。 1 広域通信制の私立クラーク国際記念高校が釧路キャンパスを開設する。 10 「かつら湯」が49年の歴史に幕を下ろす。 11 釧路管内サウナ事業者等が「釧路サウナ協議会」を設立する。 16 釧路市在住の日本画家・羽生輝の作品展が札幌の北海道立近代美術館で開催される。(～6月26日) 20 釧路市独自のスポーツ合宿誘致活動の強化を目指す「釧路市合宿誘致スーパーバイザー協議会」の設立総会が開かれる。 21 マルハニチロ北日本の新しい釧路第三工場が稼働を始める。 24 音別地域交流拠点施設「ルート38音別館おんぽーと」が供用を開始、オープンセレモニーが行われる。 25 釧路市内のエミュー飼育農場で高病原性鳥インフルエンザが発生する。 29 阿寒湖まりも足湯「ウレ・カリナ」と多目的ギャラリー「阿寒アートギャラリー」がそれぞれオープンする。 29 くしろ湿原ノロッコ号の出発式を3年ぶりに釧路駅で行う。 30 老舗喫茶店珈琲西洋館マリー・ギャルソンが閉店する。 * 酒と駄菓子を扱う鳥取北の中村商店が開業50周年を迎える。 * ペンタックスリコーファミリークラブ釧路支部が創立50周年を記念した「クラブ写真展」を開催する。 * この春からサクラの標本木が鶴ヶ岱公園から柳町公園に変更となる。	1 民法改正に伴い、成人年齢が18歳に引き下げられる。 7 漫画家の藤子不二雄Aが死去する。 11 プロ野球ロッテの佐々木朗希投手が、史上最年少で28年ぶりの完全試合を達成する。 21 北海道町村会が創立100周年を迎え、記念式典を開く。(1922年5月28日「北海道町村長会」として発足) 23 知床半島西側を航行していた小型観光船「KAZU 1(カズワン)」が沈没し、乗員・乗客26名が死亡・行方不明となる。
5	7 釧路市動物園で16年ぶり3例目となるシマフクロウの人工ふ化に成功する。 20 音別町在住の高橋洋一が、タンチョウ給餌の功績で環境省自然環境局長賞を受賞する。 20 釧路市社会福祉協議会と釧路信用金庫で金銭管理の不祥事が相次いで明らかとなる。 21 第48回くしろチューリップ&花フェアが3年ぶりに開催される。 25 コーチャンフォー釧路文化ホール2階にバリアフリーカフェ「きっさこイペ」がオープンする。 27 俳優の宇梶剛士原作・演出の演劇「永遠ノ^{トワ}矢」釧路公演を映像化した劇場版が、イオンシネマ釧路など道内9都市で上映される。 * 大型連休明け後、釧路管内で医療機関や福祉施設などでの新型コロナウイルス感染症クラスターが相次ぐ。	19 北京五輪で活躍した佐藤綾乃ら道内4選手に道栄誉賞を授与する贈呈式が行われる。
6	1 ANAクラウンプラザホテル釧路が、使用電力のすべてを再生可能エネルギーに切り替える。 4 地元スーパー閉店に伴い、美原地区で釧路市東部漁業協同組合が鮮魚の出張販売を始める。(第1・第3土曜に実施) 7 公立高校配置計画案で2024年度から釧路湖陵高校の普通科を文理探究科に学科転換することが示される。	2 元ソニー社長の実業家・出井伸之が死去する。

月	釧路市関係事項	主な国内外及び北海道の事項
7	11 釧路市在住のピアニスト・木原奈津子の30周年記念コンサートがコーチャンフォー釧路文化ホールで開催される。 13 豪華客船「にっぽん丸」が釧路に入港する。大型船の入港は2年8か月ぶり。 24 アイスホッケーひがし北海道クレインズの2022年3月期の累積赤字額が1億3,279万円に膨らんだことが明らかとなる。 26 「バーテンダー振興協会釧路」が発会し、式典が開かれる。 * 炉端文化を守り地域活性化を目指す「釧路炉ばた学会」が発足する。	
8	1 釧路市が阿寒湖アイヌコタンの魅力を伝えるブース「シカント」を釧路空港に期間限定で開設する。 1 ネーミングライツ導入により、湿原の風アリーナの愛称が「ウインドヒルくしろスーパーアリーナ」となる。 2 台湾の動物園に無償貸与しているタンチョウのビッグとキカとの間に初のひなが誕生したことを記念して、釧路市動物園で写真や映像の展示を始める。 3 藤朋流大正琴教室が開設30周年を迎え、記念の演奏会を開く。 7 イオンモール釧路昭和に参議院選挙の期日前投票所を開設する。 14 環境省が、釧路湿原国立公園の釧路市エリアを、脱炭素を目指す「ゼロカーボンパーク」に登録したと発表する。 22 釧路厚生社が創立50周年を迎え、記念式典を開く。(1972年3月設立) 24 釧路アイスホッケー連盟が創立50周年を迎え、記念式典を開く。 27 武修館中学校が、2023年度以降の生徒募集停止を発表する。 31 共栄大通の玩具と駄菓子の店「まことや」が閉店する。 31 第50回釧路湿原マラソン大会が3年ぶりに開催される。 31 釧路市で観測史上最高となる最高気温33.5度を記録する。 * 釧路市在住の自然写真家・山本光一が絵本「春採湖しまえなが物語」を刊行し、市内全小学校・全学級に寄贈する。	8 奈良市内で街頭演説していた安倍晋三元首相が銃撃され死去する。 19 冬季五輪で2大会連続金メダルに輝いたフィギュアスケートの羽生結弦が引退を表明する。 24 鹿児島県の桜島で爆発的噴火が発生する。
9	1 釧路市の市制100年を記念して「くしろ100年特別表彰」表彰式を開催し、市の産業振興に特に貢献した11社を表彰する。 2 蝦名市長が定例記者会見において、タイ政府実施の国外ボランティア派遣事業FFT(フレンズフロムタイランド)の受け入れ地に釧路市が選定されたことを発表する。 6 第75回くしろ港まつりが、期間を2日間に短縮して3年ぶりに開催される。(～7日) 10 蝦名市長が若い世代からまちづくりに対する意見を聞く「わかものふれあいトーク」を開く。 18 前田一步園財団の二代目理事長で顧問の前田三郎が死去する。 20 知の交流を図る文化イベント「エンジン02in釧路」が釧路市内で開催される。(～21日) * 釧路市内で野犬がエゾシカを襲うケースが相次いで見られる。	2 北海道教育委員会が2023年3月末をもって白糠養護学校を廃止すると発表する。 5 世界的なファッションデザイナーの三宅一生が死去する。 9 大リーグ・大谷翔平選手がベーブ・ルース以来104年ぶりとなる1シーズン2桁勝利・2桁本塁打を記録する。 11 世界的に活躍したファッションデザイナーの森英恵が死去する。 23 夏の全国高校野球で仙台育英高校が東北勢としては春夏通じて初めて優勝する。 24 京セラ・KDDI創業者の実業家・稲盛和夫が死去する。
	1 釧路市教育委員会が、義務教育学校設置や小学校再編に向けた「釧路市がめざす学校のすがた基本計画」の素案を発表する。 1 総合商社の丸紅が日本製紙釧路工場跡地を利用してシロザケの陸上養殖を検討していることが明らかとなる。	5 ロシア政府がビザなし渡航のうち、ビザなし交流と自由訪問について一方的な破棄を発表する。

月	釧路市関係事項	主な国内外及び北海道の事項
10	5 釧路市をはじめとする管内5市町や7漁協などで組織する「釧路管内ブルーカーボン推進検討協議会」が発足する。	
	8 米国発祥の大手ハンバーガーチェーン店「バーガーキング」の道東初出店となる「フレスポ釧路文苑店」がオープンする。	
	10 釧路青森県人会がコロナのため2年遅れで創立100周年記念式典を開催する。	8 イギリスのエリザベス女王が96歳で死去する。
	10 会期を2日間に短縮して第19回釧路大漁どんぱくが3年ぶりに開催される。(～11日)	
	17 青陵中学校3年生の松田歩乃佳が国体水泳競技大会の北海道代表に選出され、リレー種目に出場する。	
	22 北海道釧路湖陵高等学校が、全日制110周年、定時制100周年の記念式典を開催する。	
	23 交流スペース「港まちベース946BANYA(くしろばんや)」がMOOの2階に開業する。	27 安倍晋三元首相の国葬が執り行われる。
	24 釧新郷土芸術賞50周年を記念するステージ「郷土芸術・半世紀の軌跡」が開催される。(～25日)	30 落語家の六代目三遊亭円楽が死去する。
	* 前年に創立50周年を迎えた鳥取8丁目町内会が、記念事業の代わりに交換時期を迎えた住宅用火災警報器更新の助成を行う。	* 厚岸大橋が開通から50周年を迎える。
11	2 北日本和装研究所が、創立50周年記念の発表会を開催する。	1 プロレスラーで元参議院議員のアントニオ猪木が死去する。
	8 女子アイスホッケーの浮田留衣選手が北京オリンピック後の無期限休養から実戦復帰する。	2 標茶町長選挙で現職の佐藤吉彦が再選を果たす。
	9 桜が丘小学校金管同好会が、第22回東日本吹奏楽大会で市内小学校バンドで初となる金賞を受賞する。	
	21 不動産業のユタカコーポレーションが、創立30周年の記念祝賀会を行う。	
	23 釧路市が、クリエイティブアイドルの秋葉令奈とインターネット事業を手掛ける尾越亮介を新たな観光大使として任命する。	3 プロ野球ヤクルトスワローズの村上宗隆が王貞治を超える年間ホームラン56号を打つ。また、史上最年少での三冠王に輝く。
	29 「緑いっぱい市民運動」世話人会の創立50周年記念式典・祝賀会が開催される。	17 ザ・ドリフターズの仲本工事が死去する。
	29 釧路市を拠点に活動する合唱団アンラコロが創立50周年記念演奏会を開催する。	20 道外2店舗目となるコーチャンフォーつくば店が開業する。
	30 自転車をもそのまま鉄道車両に積み込める「サイクルトレイン」の実証実験が釧網線で行われる。	20 東京外国為替市場で一時1ドル150円台に下落する。
	31 電気・ガスや食料品などの価格高騰を踏まえ、釧路市が低所得者世帯に5万円を支給する通知を対象世帯に送付する。	
	31 バスケットボール天皇杯全日本選手権大会3次ラウンド「レバンガ北海道vs千葉ジェッツ」の試合がウインドヒルくしろスーパーアリーナで行われる。	29 韓国ソウルの路地に多くの人が殺到して転倒するなどして、日本人2人を含む158人が死亡する。
	1 釧路市生涯学習センターが開館30周年を迎える。(1992年11月1日開館)	
	5 小学生チームが登録する「釧路地区サッカー協会4種委員会」の50周年記念式典が開催される。(新型コロナの影響で1年遅れの開催)	8 皆既月食と天王星食が同時に発生する。
	8 釧路市動物園のボルネオオランウータン「ロリー」が43歳で死亡する。	11 元プロ野球選手の村田兆治が死去する。
	15 釧路市在住の日本画家・羽生輝が文化庁の2022年度地域文化功労者に選ばれ、表彰を受ける。	13 岸田文雄首相と韓国・尹錫悦大統領との日韓首脳会談が約3年ぶりに行われる。
	26 ピアノを中心とした音楽家の研修団体「ディスクール・シュル・ピアノ」が50周年記念コンサートを開く。	
	27 釧路吹奏楽団が創立50周年を迎え、記念の定期演奏会が開催される。	
	30 栄町で66年余り営業を続けてきた老舗炉ばた「万年青」が閉店する。	

月	釧路市関係事項	主な国内外及び北海道の事項
12	* 釧路市出身の山崎凌空が、ブルガリアで開かれた年齢別トランポリン世界大会で3位に入賞する。 * 釧路市内で保護された特別天然記念物タンチョウから高病原性鳥インフルエンザウイルスが初めて検出される。 * 春採湖に生息する国指定天然記念物ヒブナが金魚と野生フナとの交雑で誕生したとする研究結果を市立博物館・理化学研究所などの共同グループがまとめ、アメリカの国際学術誌に掲載される。 7 釧路市が推進するデジタルトランスフォーメーション(DX)を受けて、釧路市議会がタブレット端末を導入する。 9 釧路製作所が、航空・宇宙・防衛分野の国際的な品質管理規格の「JISQ9100」を取得する。 14 市議会12月定例会において、脱プラ容器の流れを踏まえ「くしろ阿寒百年水」の販売を2022年度で終了することが明らかとなる。 * 釧路市内市民有志が、小中学生向けに低料金の学習支援事業を展開するNPO法人「学習支援ループス」を設立する。 * 釧路卓球協会が100周年を迎える。(創立1922年12月) * 釧路湖陵高校定時制課程が、「第15回キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰」に道内で唯一選ばれる。	1 サッカーW杯カタール大会で日本が強豪スペインを2-1で破り、2大会連続で決勝トーナメント進出を果たす。 2 新型コロナウイルスによる死者数が累計5万人を超える。 13 この年の漢字に「戦」が選ばれる。 13 プロボクシング世界バンタム級4団体王座統一戦で井上尚哉がKO勝ちし、日本選手初の4団体統一王者に輝く。
この年	○ 新型コロナの影響で2021年度の釧路空港乗降客数が46年ぶりに40万人を割り込む。 ○ 2022年のサンマ水揚げ量が4年連続で過去最低記録を更新する。 ○ 2022年釧路港の水揚げ量が4年連続で全国2位となる。 ○ 釧路港でギンザケ海面養殖の実証実験が開始される。 ○ 釧路開発建設部が釧路市内中心部の国道38号線・44号線で進めている「無電柱化」工事のうち、44号線の電線埋設工事が終わる。 新語流行語大賞 「村神様」	この年 ○ 鉄道開業150年事業として、全国各地でさまざまなイベントが開催される。 ○ 北京オリンピックで日本選手団が冬季大会では過去最多となる18個のメダルを獲得する。 ○ 安倍元首相銃撃事件をきっかけに、世界平和統一家庭連合(旧統一教会)の高額寄付被害や政治家との癒着が表面化する。

月	釧路市関係事項	主な国内外及び北海道の事項
1	11 釧路市立博物館と台湾炭鉱博物館が、産炭地同士の交流を図るため友好館協定を締結する。 11 2007年まで発行されていた千円札におけるタンチョウの絵柄の素材となる写真を撮影するなど、タンチョウ写真家として知られる林田恒夫が死去する。 12 「第15回算数数学授業の達人賞」で、北海道教育大学附属釧路義務教育学校後期課程教諭の赤本純基が道内初となる最優秀賞を受賞する。 14 第37回北方領土を考える高校生弁論大会で、釧路北陽高校2年の松崎莉里香が最優秀の外務大臣賞に輝く。 15 六花亭春採店が設備老朽化のため閉店する。(1997年8月営業開始) 18 LCCピーチアビエーションが、釧路―成田線の運休と釧路―関西線の期間運航(7～10月)を発表する。 20 ANAクラウンプラザホテル釧路が開業30周年を迎え、リニューアルオープンセレモニーを実施する。 30 景雲中学校アイスホッケー部が、第43回全国アイスホッケー大会で大会2連覇、通算4回目の日本一に輝く。 * 国立科学博物館主催「第39回植物画コンクール」において、湖畔小学校6年阿部晃大と北海道教育大学附属釧路義務教育学校後期課程2年岡林春花が上位3賞を獲得する。	2 新年一般参賀が3年ぶりに行われ、両陛下に加えて長女の愛子さまが初めて出席される。 3 箱根駅伝で駒澤大学が総合優勝を果たし、史上5校目の大学3冠に輝く。 15 YMOの高橋幸宏が死去する。 22 車いすテニスの世界ランク1位国枝慎吾が現役引退を表明する。 27 連続強盗事件の指示役とみられる「ルフィ」と名乗る男が、フィリピンで身柄を拘束される。 27 作家・永井道子が死去する。 31 釧路の丸三鶴屋と同年に百貨店として開業した帯広の藤丸が閉店する。
2	1 日専連釧路のクレジットカード事業が、帯広を拠点とする日専連ジェミスに引き継がれる。 4 くしろ冬まつりが3年ぶりに開催される。(～5日) 4 釧路市が、ボールペン画家として知られる原田カーナをCool観光大使に任命する。 14 北大アイヌ・先住民研究センター、阿寒アイヌ協会、釧路アイヌ協会、(一社)阿寒アイヌコンサルン、釧路市の5者が、アイヌ民族の文化振興や情報発信などに関する連携協定を締結する。 14 釧路市が、釧路を拠点に芸能活動を展開する田川保信とフリーアナウンサーの柳卓をCool観光大使に任命する。 17 釧路市とアサヒ飲料が、環境都市推進に関する包括連携協定を締結する。 21 大塚製薬の工場が双方にあることが縁で、釧路市と徳島県松茂町が友好都市協定を締結する。 28 釧路駅構内の「おにぎり屋ばんばん」が、従業員の高齢化や人手不足により閉店する。(2008年11月12日営業開始) * 音別地区の特産品キクイモを使った新しい地ビール「釧路クラフトビール」(「くしろの風」と「くしろ夕焼け」の2種類)が発売となる。 * 北海道松浦武四郎友の会が、松浦武四郎の功績を小学生向けにまとめた紙芝居「タケチャンが行く～松浦武四郎くすり日誌～」を制作し、市内の小学校などに寄贈する。 * 釧路市の2月末での人口が61年ぶりに16万人を割り込む。	2 元北海道知事・衆議院議長の横路孝弘が死去する。 4 3月末で42年の歴史に幕を下ろすことになった北海道白糠養護学校の閉校記念式典が行われる。 6 囲碁の仲村薫が女流棋聖戦を制し、13歳11カ月で史上最年少のタイトルを獲得する。 12 フィギュアスケートの四大大陸選手権で、三浦璃来、木原龍一の「りくりゅう」ペアが日本勢として初めて優勝する。 13 漫画家の松本零士が死去する。 14 トヨタ自動車名誉会長で経団連の会長も務めた豊田章一郎が死去する。 21 上野動物園のジャイアントパンダ「シャンシャン」が、中国に返還される。
3	1 釧路市動物園のホッキョクグマ「ミルク」が、繁殖相手に噛まれて死亡する。 3 釧路和商市場に5年ぶりの新規出店となる惣菜・弁当販売の「わやだ」がオープンする。 6 釧路市医師会長や釧路市教育委員など数々の公職を歴任した長内外科医院院長の長内宏が死去する。	3 ノーベル文学賞作家の大江健三郎が死去する。 17 車いすテニスの国枝慎吾にパラアスリートでは初となる国民栄誉賞が授与される。

月	釧路市関係事項	主な国内外及び北海道の事項
4	10 カラカミホテルズアンドリゾーツが、ニュー阿寒ホテルを売却したと発表する。(売却先は非公表) 14 アイスホッケーによる国外の学生と地元の子供たちとの交流やフリーペーパー「メンバー」の発行などが評価され、NPO法人ひがし北海道スポーツコミッションが「ほっかいどう未来輝く子育て大賞」を受賞する。 28 老朽化のため建て替え工事が行われていた釧路アイヌ協会の活動拠点「春採生活館」が完成し、完成式が行われる。 30 釧路市の市制施行100周年事業の一環として、2006年に刊行した「釧路市統合年表」の続編となる「釧路市平成年表」が刊行される。 31 釧路市役所の春採・桜ヶ岡・大楽毛の各支所及び鳥取支所分室(コアかがやき内)が廃止となる。 * 神戸市の貿易会社カザワトレーディングから音別小学校・音別中学校にライフジャケット82着が寄贈される。	21 第5回ワールドベースボールクラシック(WBC)で日本代表が米国を破り、14年ぶり3回目の優勝を果たす。 28 音楽家・坂本龍一が死去する。 30 北海道日本ハムファイターズの新本拠地「エスコンフィールド北海道」を中核とした「北海道ボールパークFビレッジ」が本格開業する。 31 JR留萌本線の石狩沼田―留萌間がこの日で廃止となる。
	1 釧路公立大学が法人化し、元釧路市副市長の名塚昭が理事長に就任する。 1 ウインドヒルくしろスーパーアリーナの指定管理者が変更したことに伴い、小中高生の利用が無料となる。 1 釧路孝仁会星が浦病院の名称が「釧路孝仁会リハビリテーション病院」に変更となり、人工透析中にリハビリテーションを受けられる「透析リハビリ」を開始する。 6 MOO・2階「港まちベース946BANYA」のチャレンジショップ制度を利用し、「とろり天使のわらびもち釧路店」がオープンする。(その後、1階に店舗を移動) 8 部活動の地域移行がこの年から段階的に導入されることを踏まえ、釧路地方陸上競技協会が小中学生対象の「釧路陸上クラブ」を立ち上げる。 10 前年の知床観光船沈没事故を受け、釧路海上保安部に「機動救難士」9名が配属となり、この日任命式が行われる。 24 音別で山菜加工場を営む美警の商品「音別の生ブキ」が、日本郵便のふるさと小包に採用され、この日から申し込み受け付けを開始する。 * 釧路市が阿寒川上流部及び舌辛川の洪水ハザードマップを作成し、阿寒地区全戸に配布するとともに、Web版ハザードマップを更新する。 * ひがし北海道クレインズが2期連続赤字に陥り、選手らへの給与遅配が明らかとなる。 * 釧路市と滋賀県草津市のウイルスステージが、日本製紙工場跡を活用してシロザケの陸上養殖実証実験を開始する。	5 作家のムツゴロウこと畑正憲が死去する。 6 沖縄・宮古島付近で10人乗りの陸上自衛隊ヘリコプターが墜落し全員が死亡する。 7 千歳の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザの発生が判明する。 9 鈴木直道知事が道知事選で2選を果たす。 15 和歌山市で選挙演説に駆け付けた岸田文雄首相に鉄パイプ爆弾が投げつけられる。
	* 釧路市が阿寒川上流部及び舌辛川の洪水ハザードマップを作成し、阿寒地区全戸に配布するとともに、Web版ハザードマップを更新する。 * ひがし北海道クレインズが2期連続赤字に陥り、選手らへの給与遅配が明らかとなる。 * 釧路市と滋賀県草津市のウイルスステージが、日本製紙工場跡を活用してシロザケの陸上養殖実証実験を開始する。	* スーダンで内戦が勃発し、邦人が国外退避を開始する。 * 養鶏場で高病原性鳥インフルエンザの発生が相次いだことから、鶏卵の価格が高騰する。
	1 阿寒地区の地域おこし協力隊として芝崎恵一が着任する。 8 新たなアイスホッケーチーム「北海道ワイルズ」が設立され、給与遅配などによりひがし北海道クレインズを離脱した大半の選手との契約手続きを開始する。 9 釧路市教育委員会が、市内2拠点目となる不登校児童生徒学習支援施設の「まなびや鳥取」を鳥取ドーム内に設置する。これまで城山小学校に設置していた「青空学級」と「ふれあい教室」は機能を一本化させ「まなびや城山」という名称に変更となる。 22 20年近く活動してきた釧路産業クラスター創造研究会を発展的に解消し、新たなビジネス創造のため、若手経営者や学術機関、釧路市などが「釧路新産業創造研究会」を設立する。 27 港文館が、ミニコンサートや特別講座の開設など開館30周年事業を行う。 28 ナオコフェアリーバレエが、創立50周年記念の発表会をコーチャンフォー釧路文化ホールで行う。	5 石川県能登半島を震源とする震度6強(珠洲市)の地震を観測する。 5 世界保健機関のテドロス事務局長が、新型コロナウイルスをめぐる緊急事態終了を宣言する。 8 新型コロナウイルス感染症の感染症法上における分類が2類から5類に引き下げられる。 19 先進国首脳会議・G7広島サミットが開幕する。(～21日) 28 第76回カンヌ映画祭で役所広司が男優賞、坂元裕二が脚本賞を受賞する。

月	釧路市 関係事項	主な国内外及び北海道の事項
6	* 札幌のセンチュリーロイヤルホテルで、音別の「富貴紙」を使った来店証明書やオリジナル結婚証明書などの提供が始まる。 1 新たな地域おこし協力隊として阿寒地区に佐々木陽菜、音別地区に甘利貴洋が着任する。 5 自治体出資・官民連携の全国初となるIT人材育成のための新会社「k-Hack」が設立され、社長にk-Bizの澄川誠治が就任する。 5 2008年度に釧路市民貢献賞(社会部門)を受賞した清水桜が丘病院理事長の清水幸彦が死去する。 12 絶滅危惧種のキタサンショウウオなどの生息環境を保護するため、釧路市が太陽光発電施設に関するガイドラインを策定し、その内容を公表する。 21 市議会6月定例会において、音別地区の富貴紙がふるさと納税の返礼品に加えられる方針であることが明らかとなる。 26 KMC釧路モルック倶楽部が(一社)日本モルック協会から公認団体として認可されたことを受け、初のイベントとなる体験会を実施する。	1 北電が家庭向け電気料金を大幅値上げする。 1 藤井聡太が渡辺名人を破り、史上最年少での名人位獲得と七冠を達成する。 9 脚本家・平岩弓枝が死去する。 27 遠軽町・白滝遺跡群から出土した黒曜石などの石器類が国宝に指定される。道内2例目。
7	1 音別地区の地域おこし協力隊として高橋野乃花が着任する。 2 開店50周年を迎えた末広町のジャズバー「BOOK END(ブックエンド)」が、世界的なジャズピアニスト・山下洋輔を招いての記念コンサートを実施する。 3 来釧した訪日客が気軽に市民らと交流できる場を提供するため英語でも接客するバー「Wander Bar」が栄町で開業する。 5 クレインズー筋で元日本代表のアイスホッケーDF・伊藤賢吾が現役引退を発表する。 20 2月末で閉店した釧路駅構内の「おにぎり屋ばんばん」が、新たな経営者によって営業を再開する。 21 市内で42番目となる芦野地区連合町内会の設立総会が行われる。 * 釧路市と鳥取・湯沢両市との姉妹都市60周年を記念してヒートボイスが、アイヌ語で兄弟姉妹を指す「irwak(イリワク)」というタイトルのメモリアルソングを制作する。	12 鈴木知事が、白糠町内に道内12カ所目となる道立広域公園の整備に着手することを表明する。(釧路管内で初) 23 SNSのツイッターが「X」に名称変更となる。 24 作家・森村誠一が死去する。 25 中古車販売のビッグモーターが保険金を水増し請求していたことが明らかとなる。
8	1 釧路で初開催となる夏季全国高校総体(インターハイ)女子バレーボール大会が開幕する。(～5日) 1 釧路市立美術館アートギャラリー協力会が30周年を迎え記念式典を実施する。 1 阿寒地区の地域おこし協力隊として黒田祐一が着任する。 4 第76回くしろ港まつりが始まり、4年ぶりに「大漁ばやし」「市民踊り」「音楽」の三大パレードが実施される。 4 釧路市が、バーチャルユーチューバーの鬼霧シアンをCool観光大使に任命する。 15 阿寒地区の地域おこし協力隊として高倉大輔が着任する。 17 10年ぶりにフジドリームエアラインズ(FDA)チャーター便の運航が始まる。 26 釧路ラーメン麺遊会主催「ら・フェスタ」が5年ぶりに開催される。(～27日) 31 釧路市がモデルの坂本滯香をCool観光大使に任命する。 * 釧路みなとオアシス協議会おもてなし部会長の金子ゆかりが、「みなとまちマイスター」に認定されるとともに国土交通省港湾局長賞を受賞する。	22 7月30日に釧路町で駆除されたクマが、2019年以降、標茶町や厚岸町などで66頭の牛を襲った「オソ18」であることが判明する。 24 福島第1原子力発電所から出る処理水の海洋放出が始まる。 24 処理水の海洋放出に伴って、中国が日本産の水産物全ての輸入禁止を発表する。 25 陸上の世界選手権で女子やり投げの北口榛花が、五輪・世界選手権の日本女子トラック、フィールド種目初の金メダルを獲得する。
9	1 阿寒地区の地域おこし協力隊として千本木碧子が着任する。	1 次世代半導体製造を目指すラピダス千歳工場の建設が始まる。

月	釧路市 関係事項	主な国内外及び北海道の事項
10	1 子供たちの放課後の居場所として無料で利用できる「デジラボ」が三ツ輪ビルに開所する。 6 メルヘン調の絵で知られる釧路市出身の画家ビン・カシワ(柏崎敏一)が死去する。 6 食肉製造販売の川島食品が、益浦軽工業団地内に道内最大級のエゾシカ食肉加工処理工場を建設すると発表する。 13 火災による延焼で前年8月から休業していた炉端焼き発祥の店「炉ばた」が、クラウドファンディングによる支援を受けて営業を再開する。 16 天皇皇后両陛下が厚岸で行われる第42回全国豊かな海づくり大会北海道大会出席のため釧路入りし、釧路湿原野生生物保護センターなどを視察される。 16 「全国豊かな海づくり大会」の関連事業「豊かな海づくりフェスタ」が釧路と厚岸で始まる。(～17日) 16 ATWSの関連事業「ポストサミットアドベンチャー」の体験プログラムが阿寒湖温泉で始まる。(～18日) 21 釧路市がひがし北海道クレインズとの包括連携協定を解除する方針であることを発表する。 26 タイガとココアを生んだ釧路市動物園のアムールトラ「チョコ」が19歳で死ぬ。(国内最高齢) 27 釧路商工会議所女性会が創立50周年記念式典を行う。 * 鳥取西中学校野球部が部活動の地域移行の流れを踏まえ、クラブチーム「ひがし北海道ベースボールクラブ」に転換する。	12 世界最大級の体験型観光国際旅行商談会であるアドベンチャー・トラベル・ワールド・サミット(ATWS)が札幌で始まる。 17 厚岸で第42回全国豊かな海づくり大会北海道大会が開催される。 25 厚生労働省が、エーザイなどの開発によるアルツハイマー病の新薬「レカネマブ」の製造販売を許可する。
	1 釧路・旭川・北見を結ぶ都市間バス3路線が統合される。 4 しものせき水族館からフンボルトペンギン5羽が釧路市動物園にやってくる。 5 第45回全国公民館研究集会北海道大会兼第67回北海道公民館大会inくしろが、生涯学習センターを会場に開催される。(～6日) 11 ジョイフルエーケーが日本製紙釧路工場跡に大型商業施設の出店を発表する。 21 起業家の応援を通じて地域活性化を目指す「輝け！！第4回地域クラウド交流会」で、釧路市代表の秋田麻耶子が優勝を果たす。 22 市民合唱団「コール・カンパニーレ」が創立50周年記念演奏会を開催する。 29 釧路マンドリンアンサンブルが創立50周年演奏会を開催する。 31 音別地区の炉端「どんころ」が43年の歴史に幕を下ろす。 31 コープさっぽろ春採店が閉店する。 31 釧路まちなかコンシェルジュ「くるる」が閉店する。 * 音別地区地域おこし協力隊の任期を終えた本間忍が、音別町内に富貴紙を扱ったギャラリー&ショップ「釧路和紙工房」をオープンさせる。 * 市民ら有志が「柳町公園を札幌大通公園みたいにする会」を設立する。	1 北海道新聞の夕刊が休刊となる。 1 米大リーグ・エンゼルスの大谷翔平が日本勢初となるホームラン王に輝く。 1 消費税のインボイス(適格請求書)制度が始まる。 6 北海道新幹線の2030年度札幌延伸が困難であることが判明する。 7 ガザ地区を実効支配するイスラム組織ハマスがイスラエルを攻撃する。 8 39年ぶりの選挙戦となった浜中町長選挙で元副町長の齊藤清隆が初当選する。 8 アリスの谷村新司が死去する。 11 札幌市とJOCが2030年札幌五輪・パラリンピック招致の断念を発表する。 11 藤井聡太が広瀬王座を破り、史上初となる八冠に輝く。
	2 釧路市動物園の世界最高齢とみられるシロテテナガザル「オン」が死亡する。 15 釧路市が、シンガーソングライターの阿部静華をCool観光大使に任命する。 18 音別小学校が開校120周年記念式典を行うとともに、100周年事業で埋設したタイムカプセルの開封式も実施する。	5 プロ野球日本シリーズにおいて阪神タイガースが1985年以来2度目となる日本一に輝く。 17 米大リーグ・エンゼルスの大谷翔平が満票で2年ぶり2度目のア・リーグMVPに選出される。2度の満票は史上初。

月	釧路市 関係事項	主な国内外及び北海道の事項
12	25 釧路手話の会が創立50周年記念式典を開催する。 30 回転ずしのスシロー釧路店が開店からわずか1年余りで閉店する。 30 アイスホッケー・アジアリーグの臨時総会でひがし北海道クレインズの脱退が承認される。 1 日本航空が、釧路―羽田線就航50周年記念セレモニーを実施する。 4 道の半導体人材育成拠点校に指定されている釧路工業高等専門学校で半導体に関する授業を初めて開講する。 7 釧路市が、大楽毛と音別両地区に津波避難タワーを建設する方針であることを明らかにする。 11 釧路市が、モデルでタレントの濱木琴音をCool観光大使に任命する。 14 長倉洋海が、日本の児童文化に貢献した人物などに贈られる「第44回巖谷小波文芸賞」を受賞する。 16 春日児童館が開館50周年を迎え、記念式典を開催する。 22 サンドウィッチの「サブウェイ」が5年ぶりに釧路に出店する。 23 治水児童館が開館50周年を迎え、記念式典を開催する。 ＊ 釧路市の地域おこし協力隊として渡邊優基が着任する。	29 米軍横田基地所属の輸送機オスプレイが、屋久島沖で墜落し、乗員8人全員が死亡する。 29 脚本家・山田太一が死去する。 12 この年の漢字に「税」が選ばれる。 18 日本製鉄が、米国鉄鋼大手のUSスチールを買収すると発表する。 19 札幌市が、冬季五輪・パラリンピック招致活動の停止を発表する。 26 プロボクシングの井上尚弥が、史上2人目となる2階級での4団体統一王者となる。 30 歌手の八代亜紀が死去する。
この年	○ 釧路市と鳥取市及び湯沢市との姉妹都市提携から60年となるのを記念し、相互に訪問団を派遣するなどさまざまな交流を行う。 ○ 開業から100年の雄別鉄道(1970年に廃止)に関して、さまざまな記念イベントが行われ、記念グッズが販売となる。 ○ マイワシ漁が好調だったことなどにより、釧路港の水揚げ量が1991年以来32年ぶりに日本一となる。 ○ 釧路港での海面養殖実証実験が、ギンザケからトラウトサーモン(ニジマス)に切り替えられて実施される。 ○ 前年からこの年にかけて市内の精神科・心療内科の閉院、診療受付停止や縮小が相次ぐ。 ○ アイスホッケー・アジアリーグへの釧路のプロチーム参戦が途切れる。 ○ 1985年から釧路川河口でサケの稚魚を放流してきた「釧路シャケの会」が解散する。 新語流行語大賞 「アレ」	○ ジャニーズ事務所創業者であるジャニー喜多川による性加害問題が表面化する。 ○ 日本列島で記録的な猛暑となる。 ○ 自民党でパーティー券裏金疑惑が発覚し、閣僚や党幹部などの辞任が相次ぐ。